

子どもの歯と口の健康づくり講演会について

1 子どもの歯と口の健康づくり講演会概要

主題：「歯ッピー・スマイル京都」～子どもの歯と口の健康づくり～

副題：フッ化物を応用したむし歯予防

・日時 平成21年6月13日（土）午後2時～午後4時

・場所 アバンティホール

・参加者数 234名

市営保育所	: 18園 (32園中)	22名
市内私立保育園	: 89園 (224園中)	97名
市立幼稚園	: 2園 (16園中)	2名
市内私立幼稚園	: 25園 (99園中)	28名

2 アンケート結果

(1) アンケートの回答状況 ※アンケート用紙については[参考2](#)を参照

園名記入あり：50枚

私立保育園：24園；回収率27.0%，市営保育所：5園；回収率27.8%

私立幼稚園：20園；回収率80.0%，市立幼稚園：1園；回収率50.0%

園名記入なし：29枚 計：79回答

(2) アンケート結果について

①園における口腔保健推進の取組での指針の位置づけの理解について

アンケート79回答中、89.7%にあたる63回答が講演参加により、園における口腔保健推進の取組と指針の普及・啓発の重要性について理解を示した。

②むし歯予防の取組について

アンケート79回答中、86.1%にあたる68回答が、園において何らかのむし歯予防の取組を行っている。最も多い取組が「食後の歯みがき等」で54回答あった。また、フッ化物洗口を実施している保育園が1園あった。

③歯科健診の実施状況について

アンケート79回答中、92.4%にあたる73回答が「はい」と回答し、園児を対象とした歯科健診の実施について示した。

(3) アンケートから窺える本市の保育園・幼稚園における口腔保健の意識

○「指針について理解はできるが、何をすればいいかわからない」状態の園が過半数を占めている。具体的な取組の例などについて紹介することが重要であることが考えられる。

○園で取り組む積極的なむし歯予防策の重要性については認識できているが、フッ化物洗口への意識の転換へと至っていないと考えられる。

○フッ化物洗口の情報提供を希望した20園については、フッ化物洗口について前向きな取組が可能な園として、考えられる。